

平成25年5月16日

お知らせ

扱
い

資料提供先 岡山県政記者会

平成25年度 中国地方整備局岡山県関係直轄予算概要 (河川、道路、港湾分)

岡山河川事務所

岡山国道事務所

宇野港湾事務所

問い合わせ先

(河川関係)	岡山河川事務所	TEL 086-223-5101 (代表)
	副所長	<small>ささおか</small> 笹岡 <small>そういち</small> 総一 (改修担当) (内線204)
	副所長	<small>かわしま</small> 川島 <small>あきまさ</small> 明昌 (調査担当) (内線205)
(道路関係)	岡山国道事務所	TEL 086-214-2220 (代表)
	副所長	<small>まつむら</small> 松村 <small>まもる</small> 守 (改築担当) (内線204)
	副所長	<small>つねまつ</small> 常松 <small>ひろし</small> 宏 (管理担当) (内線205)
(港湾関係)	宇野港湾事務所	TEL 0863-33-5007 (工務課)
	工務課長	<small>うちだ</small> 内田 <small>のりまさ</small> 哲理 (内線540)

目 次

1. 平成25年度 直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）	1
2. 事業箇所別説明資料	
①河川事業	2
②道路事業	9
③港湾事業	19

1. 平成25年度 直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）

（単位：百万円）

区 分	事 業 費		対前年度比	備 考
	平成24年度	平成25年度		
河川関係	5,169	4,139	0.80	
道路関係	10,030	12,015	1.20	
港湾関係	3,955	6,174	1.56	
合 計	19,154	22,328	1.17	

（注）※事業費はいずれも年度当初予算額

※業務取扱費を除く。

※河川関係について、河川維持修繕費、堰堤維持費は含まない。

※道路関係について、道路調査、維持管理・交安Ⅱ種は含まない。

2. 事業箇所別説明資料

①河川事業

事業推進	吉井川 ^{よしいがわ} 一般河川改修事業・旭川 ^{あさひがわ} 一般河川改修事業・高梁川 ^{たかはしがわ} 一般河川改修事業	・ ・ 3
事業推進	旭川一般河川改修事業【大規模】（旭川放水路）	・ ・ ・ ・ ・ 4
事業推進	高梁川一般河川改修事業（倉敷市 ^{まきだおし} 巻倒地区）	・ ・ 5
完成予定	旭川特定構造物改築事業（百間川 ^{ひゃっけんがわ} 河口水門増築）	・ ・ 6
完成予定	旭川流域治水整備事業（旭川総合内水緊急対策事業）	・ ・ 7
事業推進	旭川総合水系環境整備事業（古京地区 ^{ふるぎょう} （旭川まちづくり））	・ ・ 8

よしいがわ あさひがわ たかはしがわ

吉井川・旭川・高梁川一般河川改修事業 (高潮対策・堤防液状化対策)

事業推進

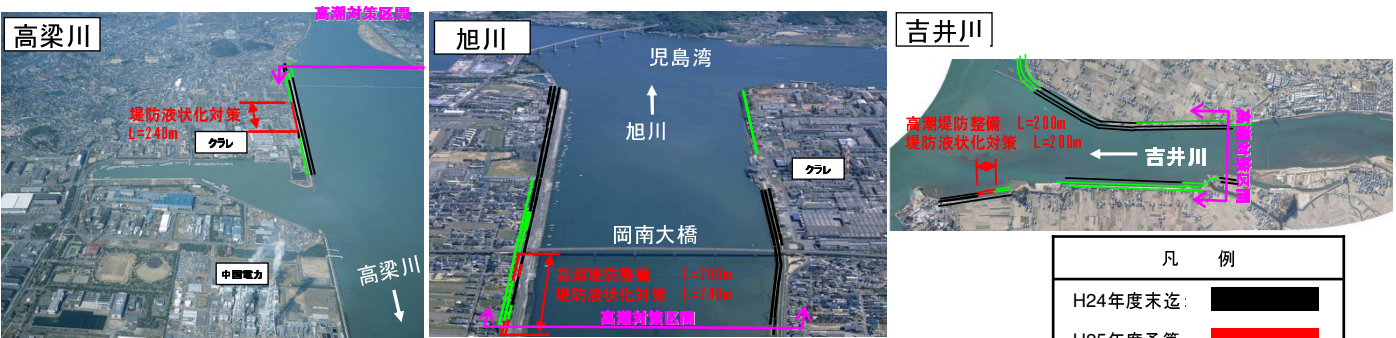
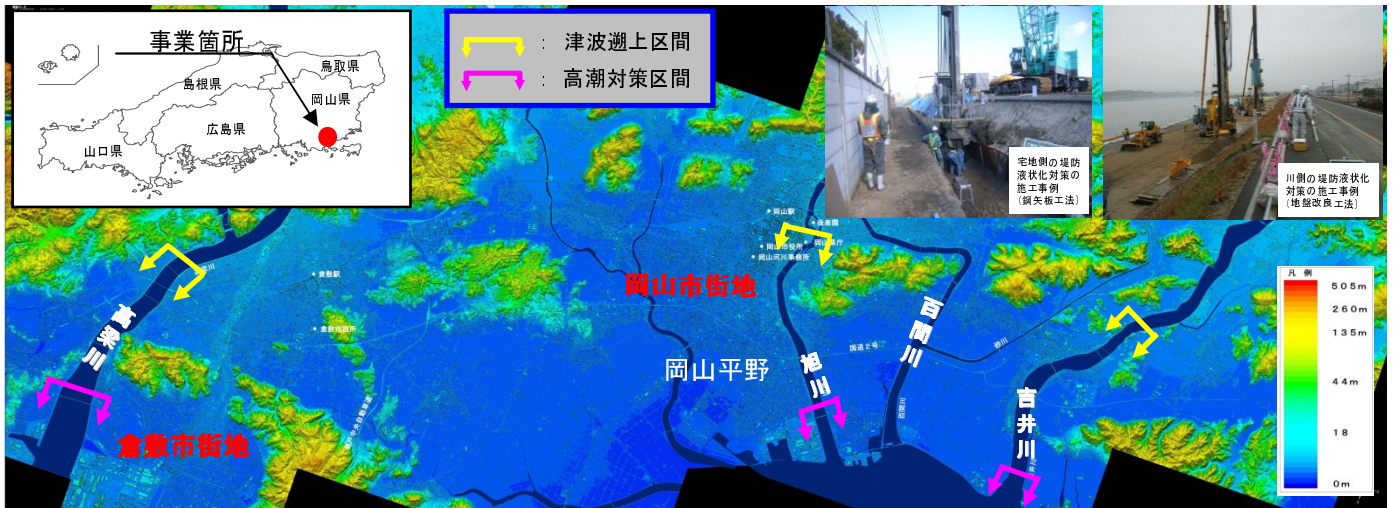
事業費2,501百万円
※3水系全体

【事業概要】

岡山平野は、過去からの干拓により形成された「ゼロメートル地帯」が広がっています。このため、吉井川・旭川・高梁川の河口部の沿川地区においては、平成16年の度重なる台風の襲来による高潮の影響により浸水被害が発生し、早期の高潮堤防の整備が必要です。このため、各河川の各河口部において高潮堤防の整備を実施しています。

また、平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」、平成23年3月に発生した「東日本大震災」を教訓として、地震による液状化現象により河川堤防等が被災し、河川水や津波等がはん濫した場合に、甚大な浸水被害が発生するおそれがあるため、堤防液状化対策が必要です。このため、河川管理施設の耐震性照査を実施し、河川堤防の耐震性が不足する区間において、河川堤防の液状化対策を実施しています。

平成25年度は、引き続き高潮堤防の整備を実施するとともに、河川堤防の液状化対策等を実施します。



期待される整備効果

高潮堤防の整備が概成することにより、平成16年8月の既往最高潮位が再び発生しても、浸水家屋戸数の軽減が図られます。

また、大規模地震による液状化等による堤防の被災等を軽減することで、堤内地への河川水等の氾濫による二次被害が軽減されます。

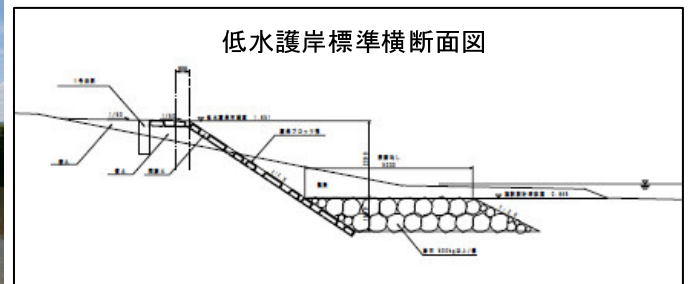
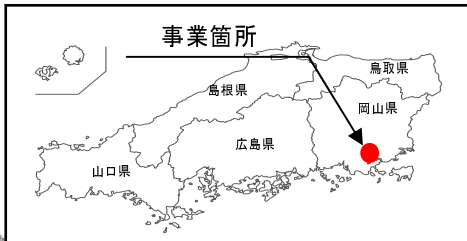
【事業概要】

ひやっけんがわ

旭川放水路（百間川）は、岡山市街地を洪水被害から守るため、昭和45年度から抜本的な河川改修（大規模工事）に着手し、平成9年には河川堤防が概成しています。

今後は下流部における流下能力確保のため、河口水門を増設（平成13年度より特定構造物改築事業で事業中）するとともに、旭川と百間川の適切な洪水分派機能を確認するために分流堰（荒手）の改築、河道掘削等が必要です。

平成25年度は、河道掘削及び護岸整備を実施します。



護岸 $A=6,140m^2$

掘削 $V=30,000m^3$

凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色

期待される整備効果

事業の完成により、流下能力の向上が図られることで、河川整備計画で目標とする洪水流量を安全に流すことが可能となり、浸水被害の軽減が図られます。

高梁川一般河川改修事業（倉敷市巻倒地区）

事業推進

事業費1,014百万円
※高梁川水系全体

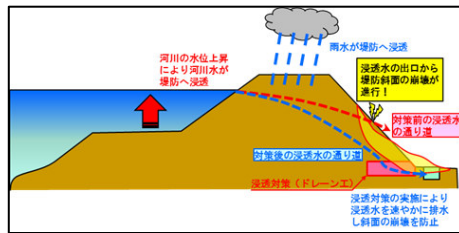
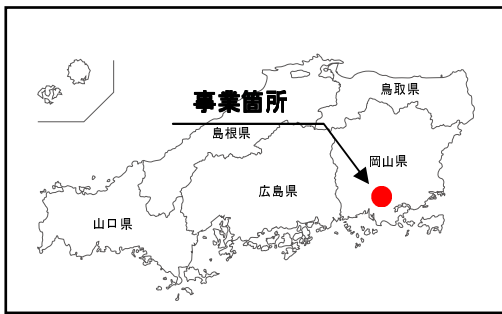
【事業概要】

高梁川は、東派川を締め切り、西派川を高梁川本川の河道とする大規模な河川改修を明治時代後期に実施しています。

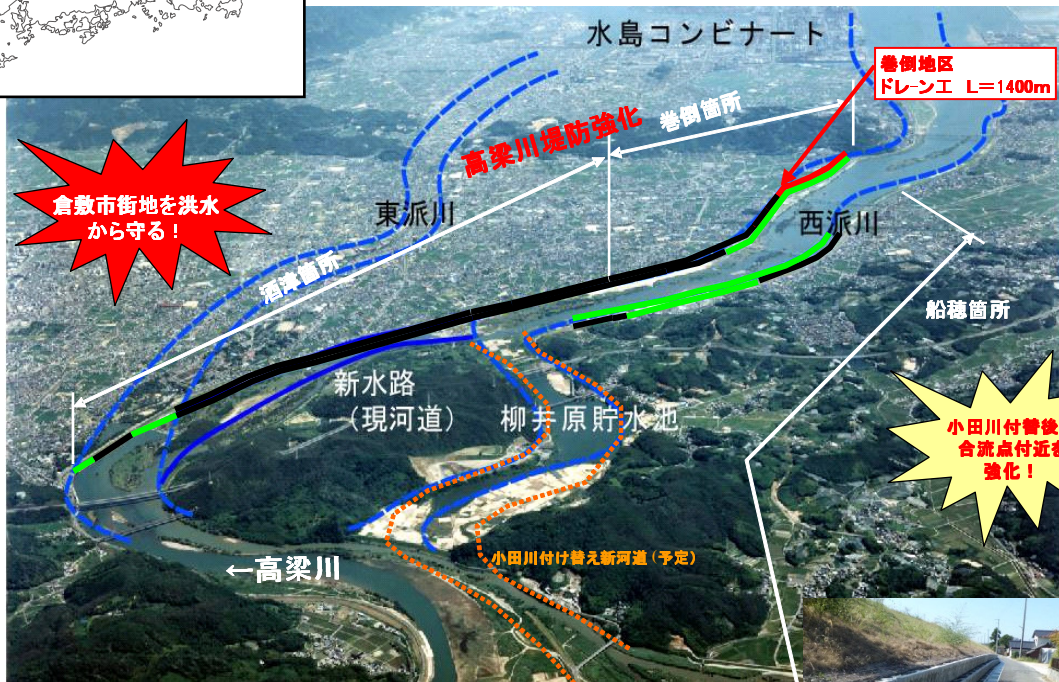
このため、高梁川本川の堤防の基礎地盤には水を通しやすい旧河川跡が多数存在しており、河川堤防の浸透や漏水に対する安全性が不足する区間が多数存在します。

現在、平成10年10月の台風10号により河川堤防の斜面が崩れたことや、背後地に人口・資産が集中する倉敷市街地を抱える左岸側の河川堤防から、優先的に河川堤防の浸透対策を実施しています。

平成25年度は、巻倒地区において、ドレーン工による堤防の浸透対策を実施します。



凡 例	
H24年度末迄:	黒色
H25年度予算:	赤色
H26年度以降:	緑色



小田川付け替え後の合流点付近を強化!



ドレーン工整備状況

期待される整備効果

河川堤防の浸透対策を実施し、河川堤防の浸透破壊による決壊リスクを軽減することにより、倉敷市街地等への甚大なはん濫被害の防止が図られます。

旭川特定構造物改築事業（百間川河口水門増築）

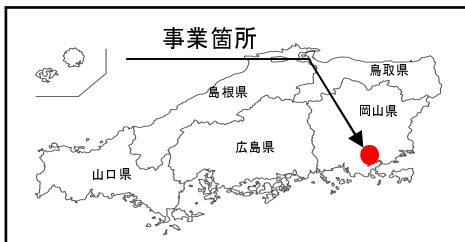
完成予定

事業費979百万円

【事業概要】

旭川放水路（百間川）は平成9年に堤防整備が概成しており、早期に放水路の事業効果を発揮するためには、現在の河口水門のみでは流下能力が著しく不足（河川整備計画で旭川放水路に流す洪水流量の5割程度）しているため、河口水門の増設が必要です。

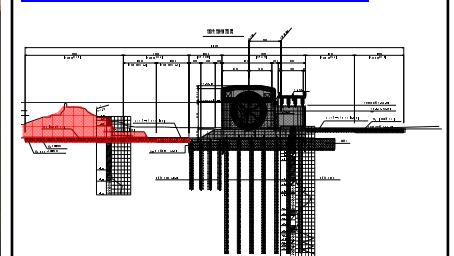
このため、平成13年度より百間川河口水門の増設に着手し、平成24年度末までに新設水門が概ね完成しており、平成25年度には、既設防潮堤の撤去、仮設物の撤去を実施し、事業の完成を目指します。



現在の進捗状況(H25.3)



河口水門 標準断面図



期待される整備効果

百間川河口水門の増設により、百間川下流部において、流下能力が向上することで、河川整備計画で目標とする洪水流量を安全に流すことが可能となり、浸水被害の軽減が図られます。

旭川流域治水整備事業 (旭川総合内水緊急対策事業)

完成予定

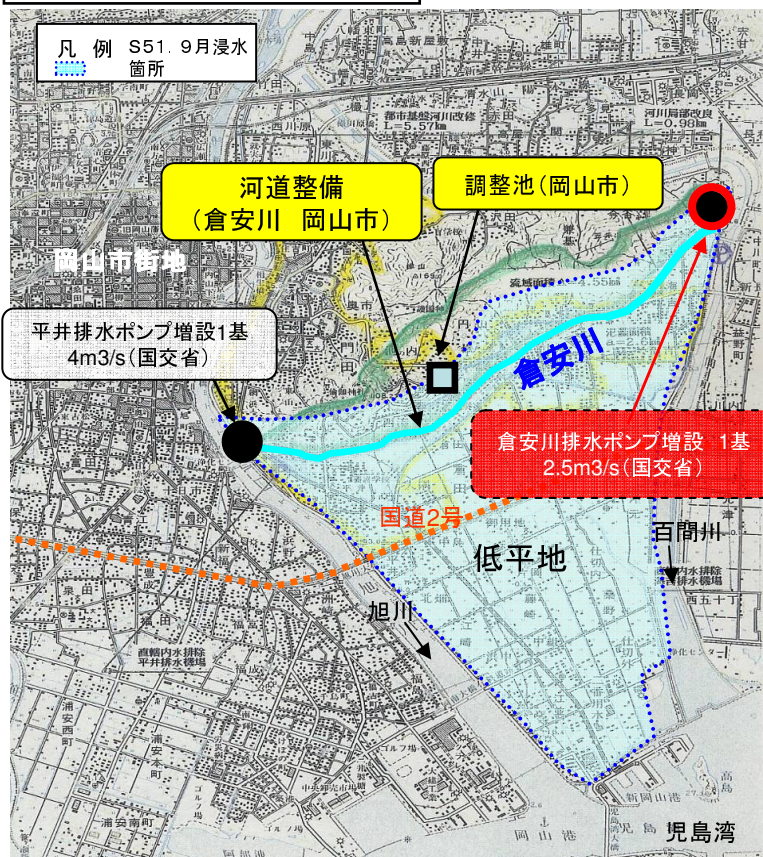
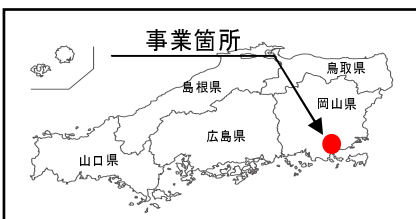
事業費175百万円

【事業概要】

旭川と百間川を結ぶ支川倉安川では、昭和51年9月の洪水により1,160戸にも及ぶ大きな浸水被害が発生しており、近年においても平成23年9月に浸水被害が発生するなど、局地的な集中豪雨の頻発により、度々浸水被害が発生しています。

このため、平成21年度より、河川管理者と地域が一体となって、排水ポンプ場、河川改修、調整池、その他関連する雨水排水対策施設の整備等のハード対策に合わせ、流域における流出抑制、土地利用規制等のソフト対策を重層的に実施するため、「総合内水緊急対策事業」による内水対策を実施しています。

このうち国土交通省では、平成24年度に平井排水ポンプ場のポンプ増設を完成させました。平成25年度には、引き続き倉安川排水ポンプ場のポンプ増設を実施し、事業の完成を目指します。



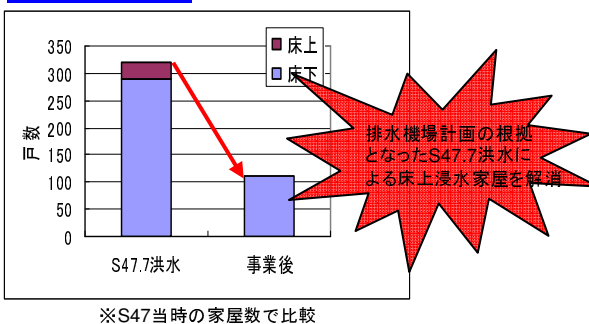
期待される整備効果

排水ポンプを増設することにより、総合内水対策計画の目標である昭和47年7月と同規模の洪水が発生した場合においても、内水はん濫面積を軽減し、家屋の床上浸水被害の防止が図られます。

近年の内水被害状況(H23.9台風12号)



事業の効果



完成イメージ



旭川総合水系環境整備事業

ふるぎょう

(古京地区 (旭川かわまちづくり))

事業費 21 百万円
※旭川水系全体

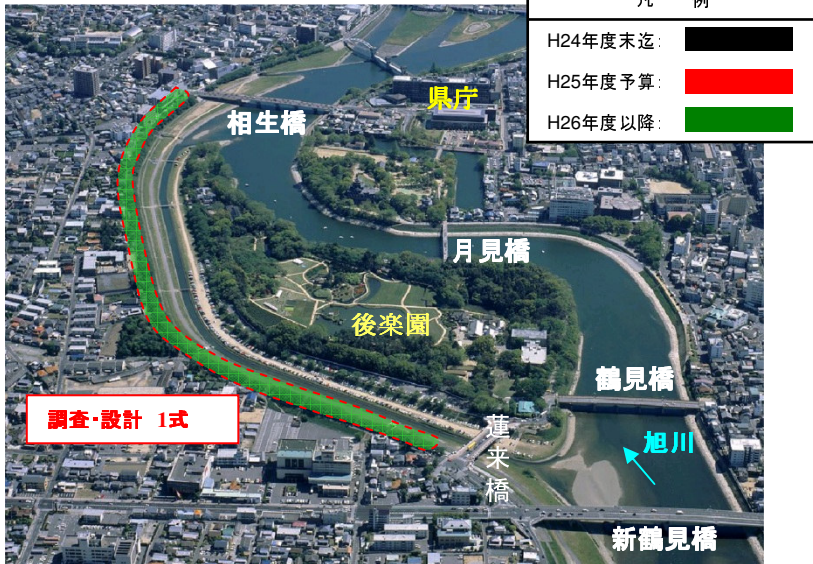
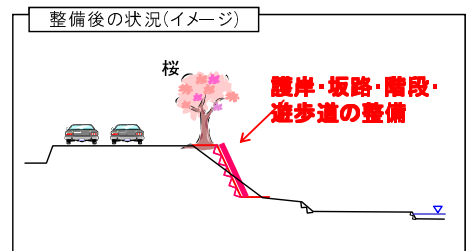
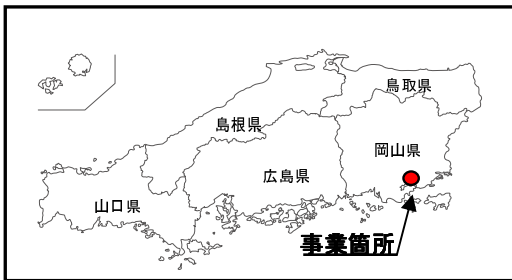
事業推進

【事業概要】

旭川水系旭川の古京箇所の「さくらみち」は、岡山市の中心部で、歴史的文化施設が集中している岡山カルチャーゾーンと呼ばれている地域に位置しており、樹齢50年を超え老木化が進行し、植え替えが必要な桜が堤防に多数存在しています。

地域の方々が実施する桜の植え替えと連携して、安全かつ周遊性、利便性に優れた空間の整備を行うことにより、地域の活性化を目指します。

河川管理者である国土交通省では、植樹基準に適合した護岸整備を実施します。



期待される整備効果

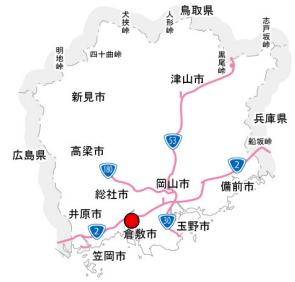
地域の方々による桜の植え替え、河川管理者による護岸等の整備により、「旭川さくらみち」の安全性、利便性が向上し、岡山市街地の活性化に寄与します。

②道 路 事 業

事業推進	一般国道2号	倉敷 ^{くらしきりったい} 立体	10
事業推進	一般国道2号	玉島 ^{たましま} ・笠岡 ^{かさおか} 道路、玉島 ^{たましま} ・笠岡 ^{かさおか} 道路（Ⅱ期）	11
事業推進	一般国道2号	笠岡 ^{かさおか} バイパス	12
事業推進	一般国道53号	津山 ^{つやま} 南 ^{なみ} 道路	13
事業推進	一般国道180号	岡山 ^{おかやま} 環状 ^{かんじょう} 南 ^{なみ} 道路	14
事業推進	一般国道180号	総社 ^{そうじゃ} ・一宮 ^{いちのみや} バイパス	15
事業推進	一般国道53号	岡山53号交差点改良等（岡山市内 ^{おかやま} 自転車道整備事業）	16
事業推進	一般国道53号	岡山53号交差点改良等（津山 ^{つやま} 駅前自転車歩行者道整備事業）	17
事業推進	岡山国道管内の	電線 ^{でんせん} 共同溝 ^{きょうどうこう} 事業	18

一般国道2号 倉敷立体

くらしきりったい



平成25年度
事業概要

調査設計を推進します。

■事業概要

倉敷立体事業は、一般国道2号の倉敷市新田^{しんでん}から倉敷市船穂町船穂^{ふなおちょうふなお}に至る延長7.7kmの区間において4車線化整備を行う事業です。

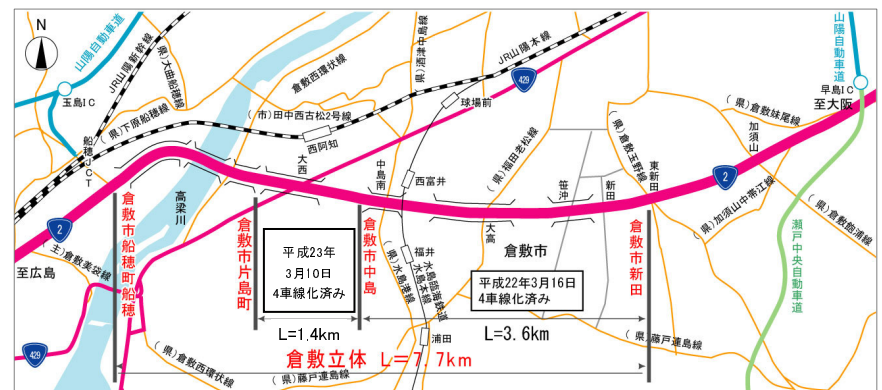
この地区では、高梁川大橋付近で交通渋滞が発生しています。4車線化により交通容量を拡大させることで、倉敷市街地の渋滞の緩和や、それに伴う沿道環境の改善を図ることなどを目的としています。

■状況写真



終点側より西方面(倉敷方面)を望む

■事業箇所図



【渋滞発生状況】

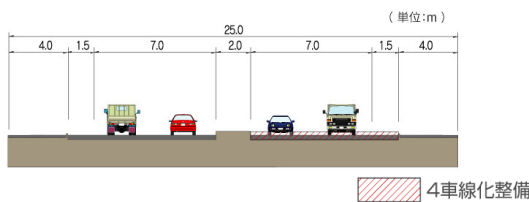


高梁川大橋付近上り方向

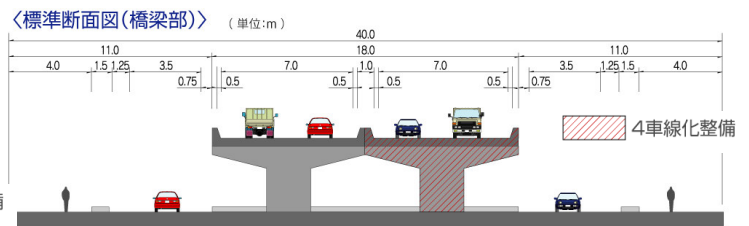


高梁川大橋付近下り方向

《標準断面図(土工部)》



《標準断面図(橋梁部)》



一般国道2号 玉島・笠岡道路 一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)



平成25年度
事業概要

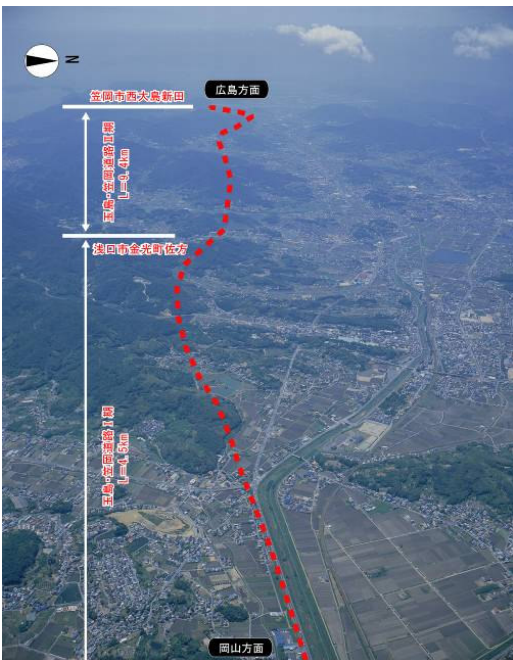
I期:用地買収、道路改良工事を推進します。
II期:用地買収、道路改良・橋梁工事、調査設計を推進します。

■事業概要

玉島・笠岡道路は、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する倉敷市玉島阿賀崎から笠岡市西大島新田に至る延長13.9kmの道路です。

岡山県西部地域で発生する交通渋滞の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展を目的としています。倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方に至る延長4.5kmについて、平成26年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

■状況写真

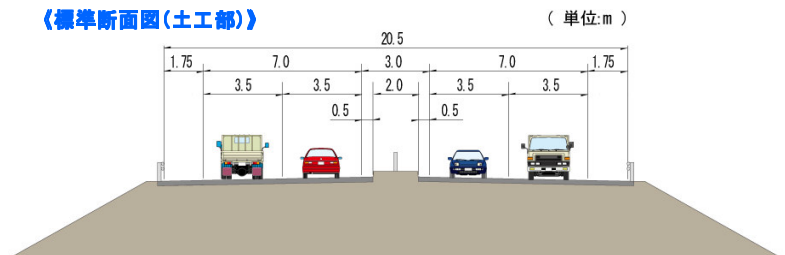


起点より西方面(笠岡方面)を望む

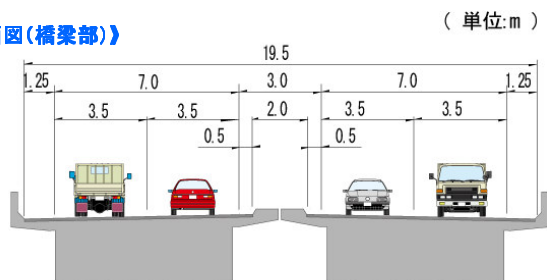
■事業箇所図



《標準断面図(土工部)》



《標準断面図(橋梁部)》

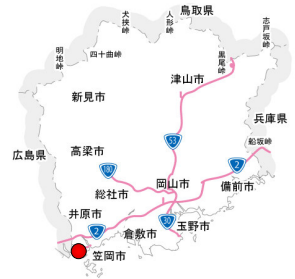


渋滞発生状況



国道2号里庄駅前交差点付近

かさおか 一般国道2号 笠岡バイパス



平成25年度
事業概要

用地買収、調査設計を推進します。

■事業概要

笠岡バイパスは、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する笠岡市西大島新田から茂平に至る延長7.6kmのバイパスです。

笠岡市周辺における一般国道2号の通過交通を受け持つことにより、笠岡市街地に集中する交通渋滞の緩和と、それに伴う同地域の活力向上を図ることを目的としています。

笠岡バイパスは、平成20年3月に側道部を供用（笠岡市西大島新田～笠岡市入江L=0.4km、笠岡市カブト南町～笠岡市港町L=2.9km）しており、今後も引き続き事業を進めます。

■状況写真



起点側より西方面（福山方面）を望む

■事業箇所図

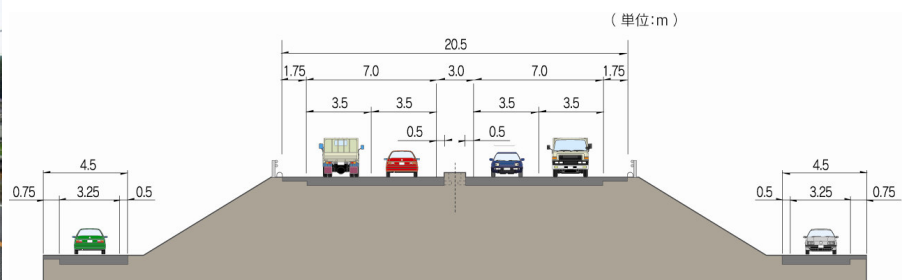


渋滞状況

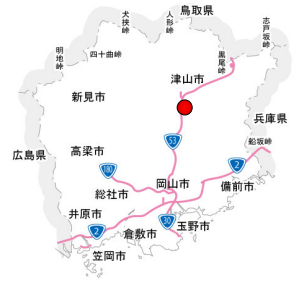


国道2号用之江交差点付近

〈標準断面図（土工部）〉



つやまみなみ 一般国道53号 津山南道路



平成25年度
事業概要

用地買収、調査設計を推進します。

■事業概要

津山南道路は、地域高規格道路「空港津山道路」の一部を構成する久米郡美咲町打穴中から津山市平福に至る延長5.4kmの道路です。

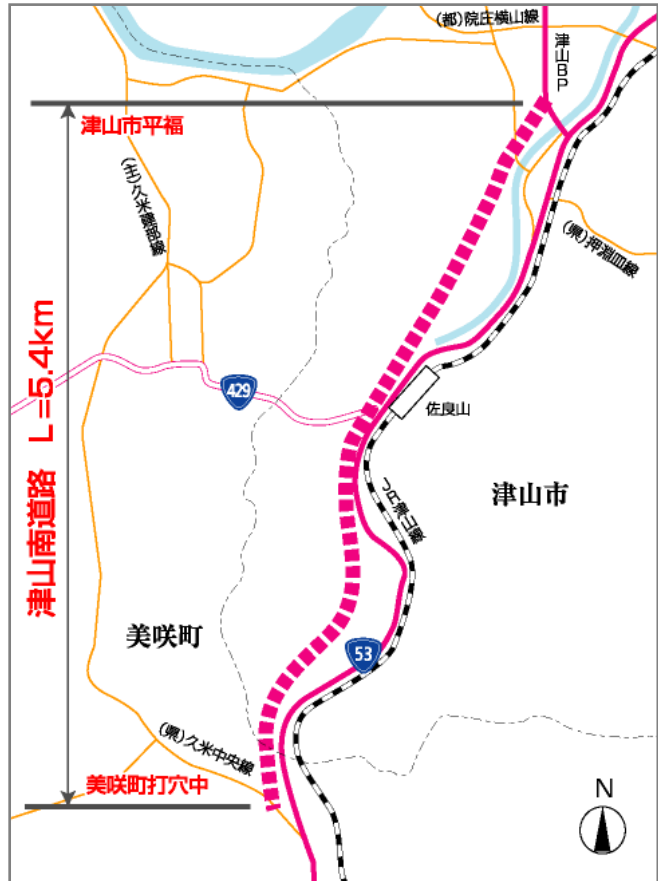
津山周辺圏と、岡山空港及び県南部地域との連携強化を促進し、沿線地域の発展を図ることを目的としています。

■状況写真

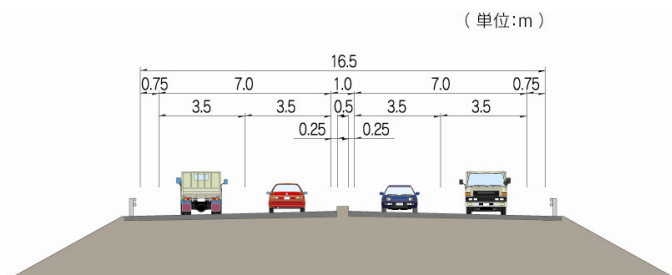


起点側より北方面(津山市方面)を望む

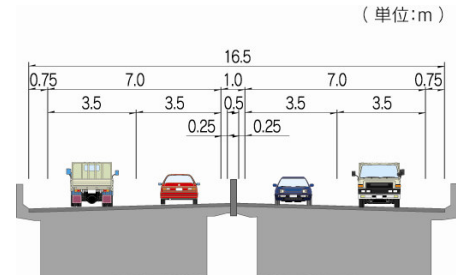
■事業箇所図



《標準断面図(土工部)》

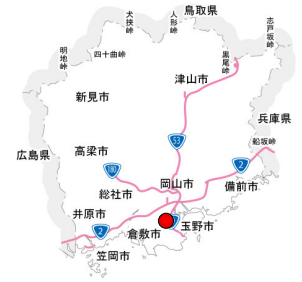


《標準断面図(橋梁部)》



一般国道180号 岡山環状南道路

おかやまかんじょうみなみ



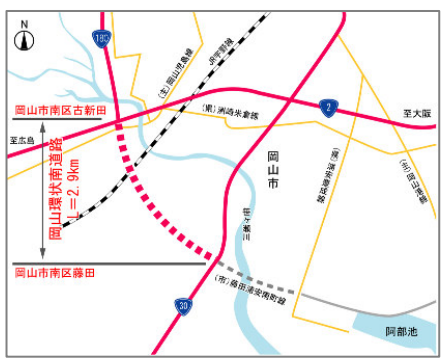
平成25年度
事業概要

用地買収、道路改良工事、調査設計を推進します。

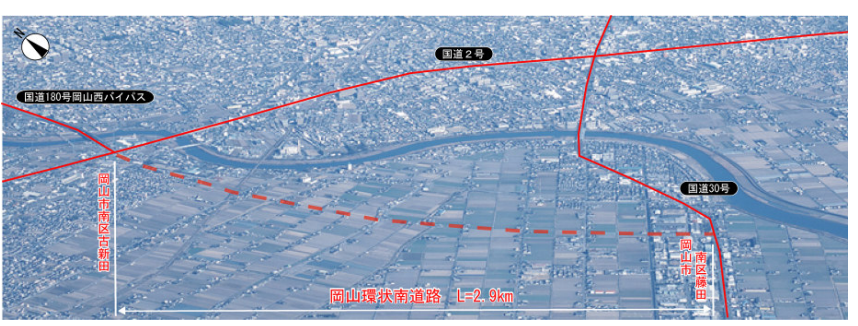
■事業概要

岡山環状南道路は、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を構成する一般国道2号岡山バイパス（岡山市南区古新田）から一般国道30号（岡山市南区藤田）に至る延長2.9kmのバイパスです。
岡山市中心部では、特に朝夕の通勤時間帯に流出入する交通によって交通渋滞が発生していることから、市内流入交通の分散によって交通渋滞の緩和を図ることを目的としています。

■事業箇所図



■状況写真

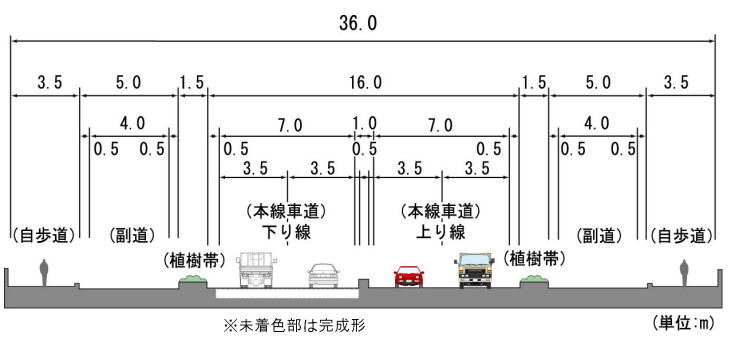


渋滞発生状況



国道30号笹ヶ瀬交差点より1.4km南側付近
(国道2号方面を望む)

〈標準断面図〉



※断面図は都市計画決定時点

一般国道180号 総社・一宮バイパス

そうじゃ いちのみや



平成25年度 事業概要

岡山市北区榑津～今岡間：調査設計、用地買収、道路改良工事を推進します。

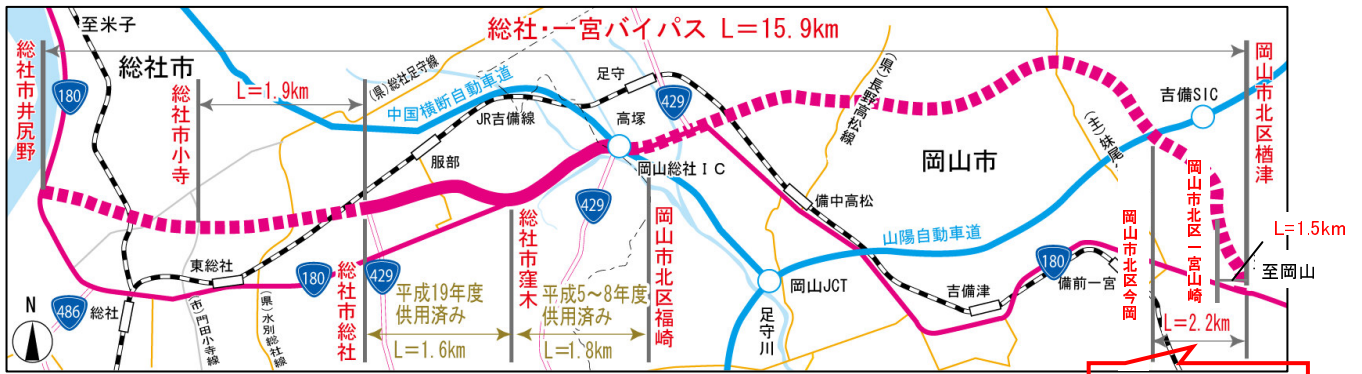
総社市総社～小寺間：用地買収、調査設計を推進し、道路改良工事に着手します。

■事業概要

総社・一宮バイパスは、岡山市北区榑津から総社市井尻野に至る延長 15.9km のバイパスです。朝夕の通勤時間帯に交通渋滞が発生する一般国道 180 号の岡山市西部及び総社市の通過交通を受け持つことにより、交通渋滞の緩和やそれに伴う同地域の活力向上を図ることを目的としています。

これまでに中国横断自動車道岡山総社 IC 関連区間を含む岡山市北区福崎から総社市総社までの 3.4km の区間を 4 車線供用しています。岡山市北区榑津から一宮山崎まで (L=1.5km) の平成 27 年度供用に向けて、引き続き事業を進めます。

■事業箇所図

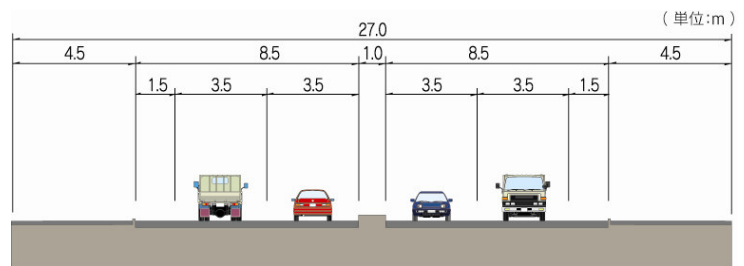


■状況写真

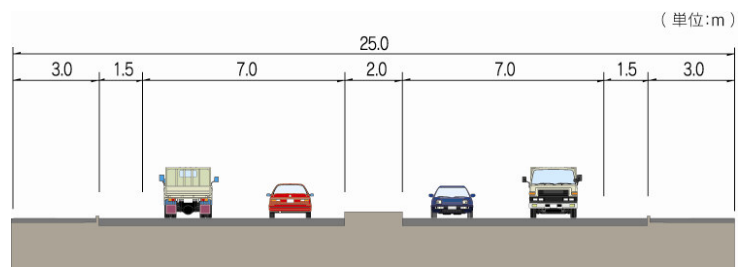


岡山市北区小山付付近より西方面を望む

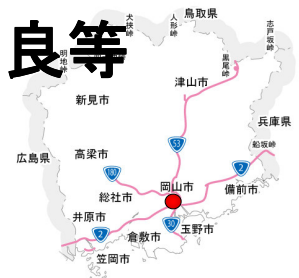
《標準断面図(土工部)総社市総社～総社市小寺》



《標準断面図(土工部)岡山市北区榑津～岡山市北区福崎》



一般国道53号 岡山53号交差点改良等 おかやま (岡山市内自転車道整備事業)



平成25年度
事業概要

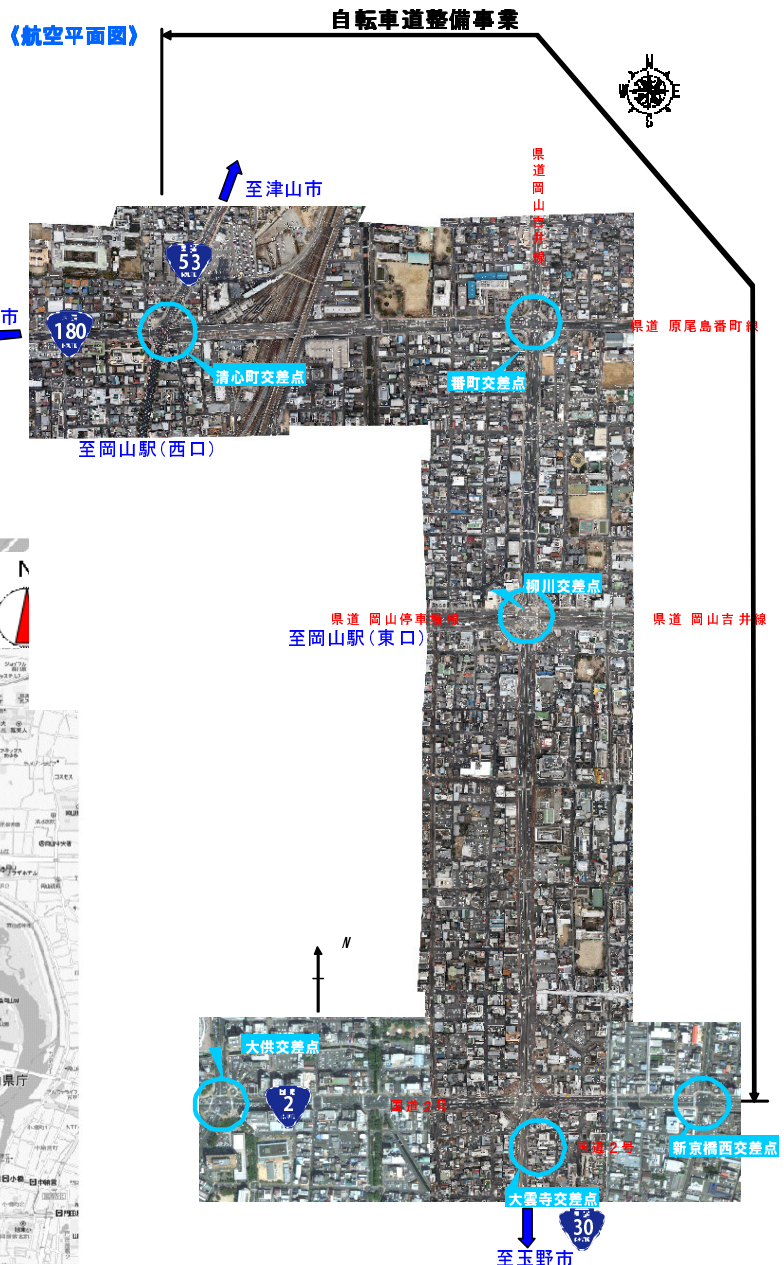
調査設計・工事に着手します。

■事業概要

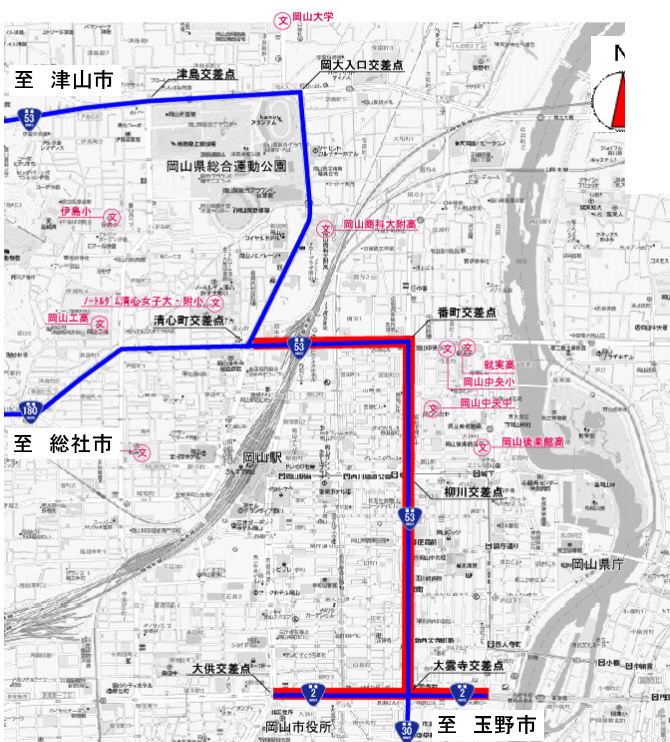
当該箇所は、自転車走行環境整備モデル地区内に位置しており、一部では自転車道整備や通行位置明示が行われていますが、ネットワークとしての連続性は確保されておらず、自転車歩行者道内ではピーク時を中心に歩行者と自転車の危険なすれ違いが発生している箇所です。

本事業では、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間及び主要渋滞箇所における対策として、自転車専用通行帯の整備を行い、安全・安心な自転車走行空間を確保します。さらに岡山市では「自転車先進都市おかやま実行戦略」を策定しており、周辺の市道の計画と連携を図っていきます。

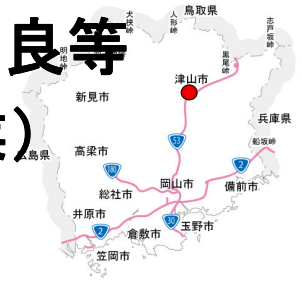
■状況写真



■事業箇所図



一般国道53号 岡山53号交差点改良等 (津山駅前自転車歩行者道整備事業)



平成25年度
事業概要

調査設計に着手します。

■事業概要

当該箇所は、交通安全施設等整備事業の推進に関する法律第3条に基づく通学路に指定されており、歩道のない区間や歩道が狭い区間において、歩行者や自転車と自動車の接触事故が発生しています。また、信号の無い交差点では、視認性が低いため歩行者・自転車や車両相互の出合頭事故が発生している危険な箇所です。このため、津山南小学校の通学路危険箇所として緊急合同点検を実施し、対策として歩道整備を行うことで合意しています。

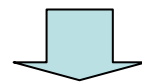
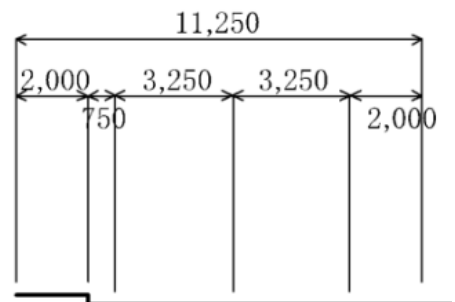
本事業では、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間及び主要渋滞箇所における対策として、自転車歩行者道の整備により通行者の安全性向上を図るとともに、沿線施設や当該道路からの出入時において視認性の向上を図っていきます。

また、当該箇所は「無電柱化に係るガイドライン」に基づく基本計画区間であるため、電線共同溝を併せて整備します。

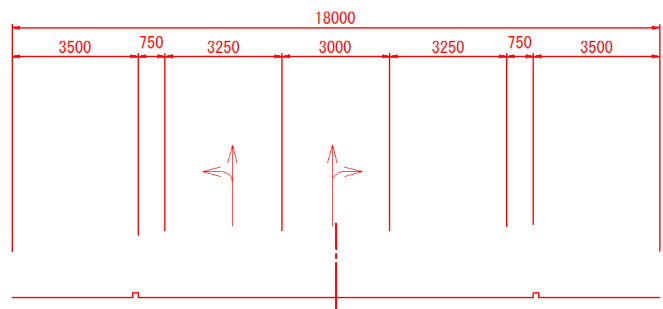
■事業箇所図



【現況横断面】 (単位: mm)



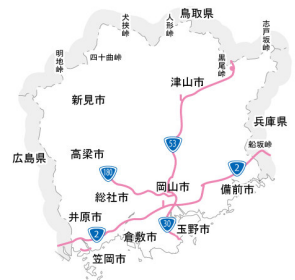
【計画横断面】 (単位: mm)



■状況写真



岡山国道管内の電線共同溝事業



平成25年度
事業概要

岡山市内、笠岡市内及び玉野市内の事業を推進します。

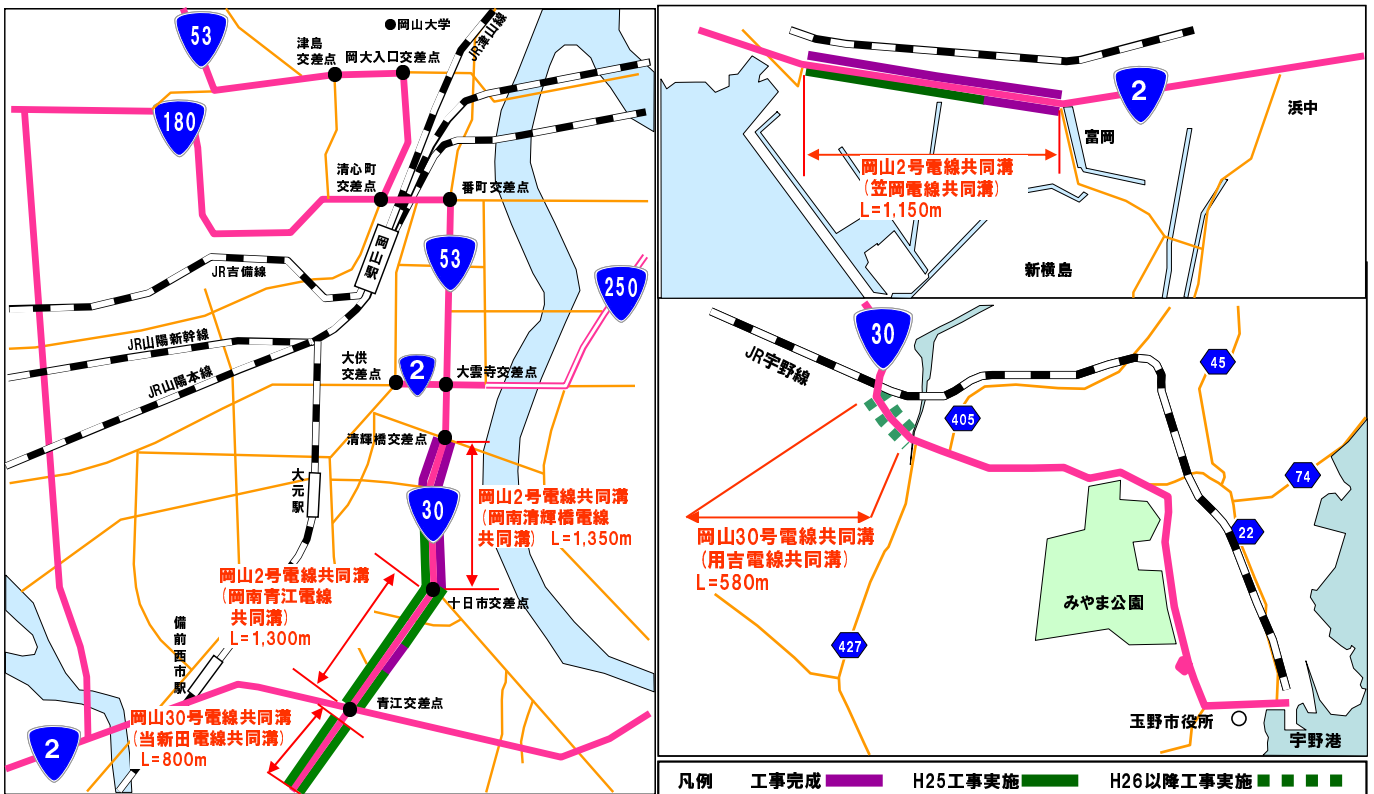
■事業概要

電線共同溝事業は、道路の地下空間を利用して、電線類を地中化することにより、電力、電話ケーブル、その他の通信ケーブルをまとめて収容し、無電柱化や掘り返し工事の減少、歩道を利用する人の安全で安心な歩行空間を確保すること等を目的としています。

岡山国道事務所では、岡山市内、笠岡市内及び玉野市内の電線共同溝の整備を進めています。

平成25年度は、岡山30号電線共同溝(用吉電線共同溝)に新規着手し、岡山2号電線共同溝(岡南清輝橋・岡南青江・笠岡電線共同溝)の完成を目指します。

■事業箇所図



■状況写真

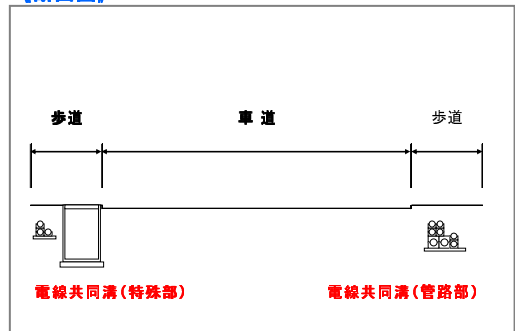


管路部敷設



特殊部設置

【断面図】



③ 港 湾 事 業

事業推進

みずしまこう
水島港

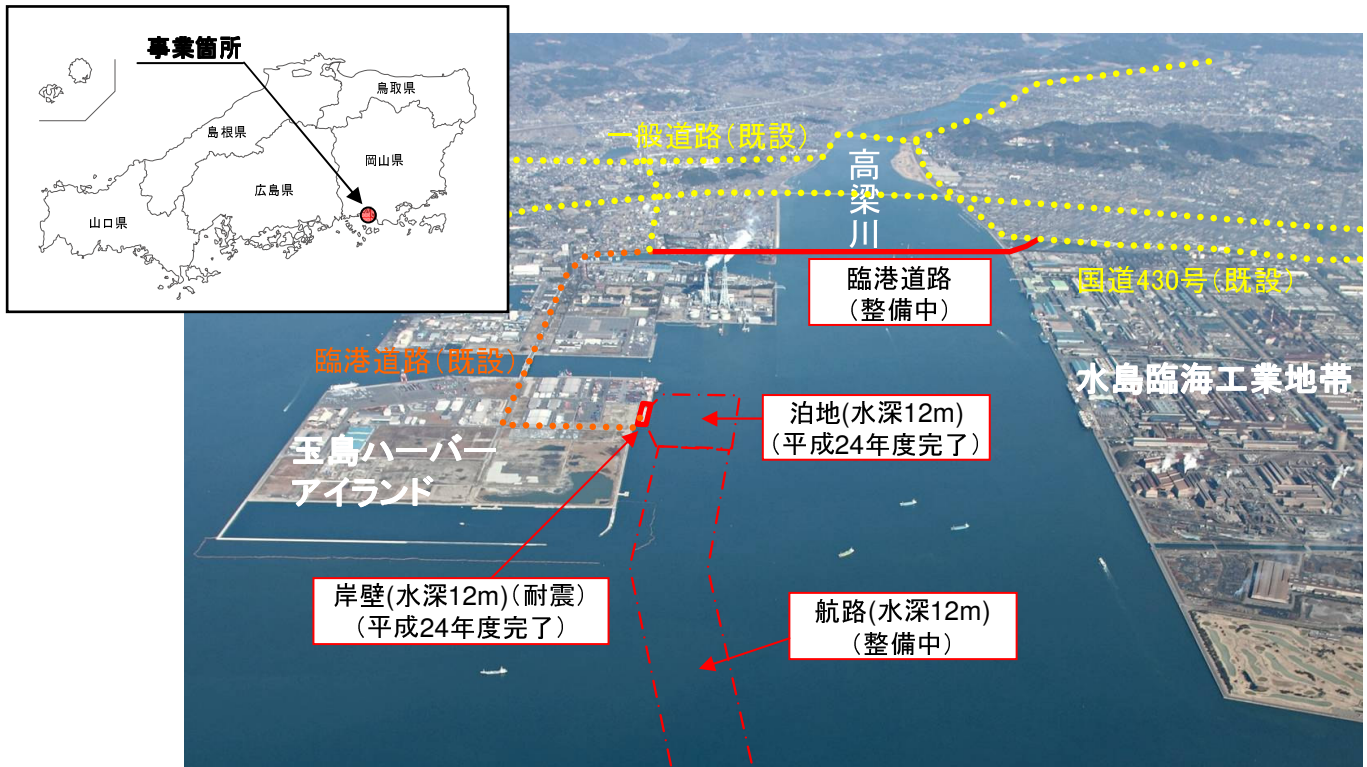
こくさいぶつりゅう 国際物流ターミナル・りんこうどうろ 臨港道路整備事業・・・・・・・・・・ 20

事業推進

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、中・四国第1位の取扱貨物量を誇る港湾です。平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(穀物、鉄鉱石)に選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、生産拠点である水島地区と物流拠点である玉島地区間の港湾貨物輸送の円滑化や、玉島地区における国際コンテナ貨物の増加、船舶大型化、大規模地震への対応といった港湾機能の強化を図ることが喫緊の課題となっています。

このため、両地区を結ぶ臨港道路と、国際物流ターミナル「航路(水深12m)」の整備を推進します。



期待される整備効果

本事業により、物流コストの削減、産業競争力の強化を図り、日本全体の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

また、大規模災害に対する地域の災害対応力の強化を通じ、粘り強い国土軸の形成に寄与します。